



S コマンド

この章では、コマンド名が S で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンド（**show** で始まるコマンドを除く）について説明します。

sampler

サンプリングを定義し、サンプリング コンフィギュレーション モードに入るには、**sampler** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。サンプリングの定義を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

sampler name

no sampler name

シンタックスの説明	<i>name</i> サンプラ名				
コマンドのデフォルト設定	サンプリングは定義されません。				
コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション				
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>4.0(1)</td><td>このコマンドが導入されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更内容	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
リリース	変更内容				
4.0(1)	このコマンドが導入されました。				

使用上のガイドライン NetFlow サンプリングでは、N 個のうち M 個のパケットをサンプリングします。パケットをサンプリングするときに NetFlow キャッシュ ミスが発生した場合は、そのフローの NetFlow キャッシュ エントリが作成されます。その場合、最初のパケットのタイムスタンプが更新され、最初のパケットの統計情報が初期化されます（たとえば、バイト カウントにはパケット内のバイト数が設定され、パケット カウントは 1 に設定されます）。パケットをサンプリングするときに NetFlow キャッシュがヒットした場合は、そのフローのキャッシュが更新されます。具体的には、パケットのバイト数がバイト カウンタに加算され、パケット カウンタが 1 だけ増分されます。

sampler name コマンドを入力すると、サンプラ コンフィギュレーション モードに入り、プロンプトが次のように変わります。

```
switch(config-flow-sampler)#
```

サンプラ レコード コンフィギュレーション モード内では、フロー モニタを設定する次のキーワードと引数を使用できます。

- **description description** — このサンプラの説明を 63 文字以内で指定します。
- **exit** — 現在のコンフィギュレーション モードを終了します。
- **mode sample-num out-of packets** — サンプラ モードを設定します。有効な値は次のとおりです。
 - **sample-num** — サンプルング 1 回あたりのサンプルの数。範囲は 1 ~ 64 です。
 - **out-of** — パケットあたりのサンプル数の比率を指定します。
 - **packets** — 各サンプルングのパケット数。範囲は 1 ~ 8192 です。
- **no** — コマンドを無効にするか、またはデフォルト設定にします。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、サンプラを定義して、サンプラ コンフィギュレーション モードに入る例を示します。

```
switch(config)# sampler testsampler
switch(config-flow-sampler)#
```

次に、サンプラ モードを設定する例を示します。

```
switch(config)# sampler testsampler
switch(config-flow-sampler)# mode 24 out-of 1200
```

次に、サンプラ定義を削除する例を示します。

```
switch(config)# no sampler testsampler
switch(config-flow)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
flow exporter	フロー エクスポートを作成します。
flow monitor	フロー モニタを作成します。
flow record	フロー レコードを作成します。

save

現在のコンフィギュレーションセッションをファイルに保存するには、**save** コマンドを使用します。

save location

シンタックスの説明	<i>location</i>	ファイルの場所。bootflash:、slot0:、または volatile: のいずれかを指定できます。ファイル名には 63 文字以内の英数字のストリングを指定します。
------------------	-----------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	Any
----------------	-----

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例	次に、コンフィギュレーションセッションを、bootflash: 内のファイルに保存する例を示します。
----------	--

```
switch# configure session myACLs
switch(config-s)# save bootflash:sessions/myACLs
```

関連コマンド	コマンド	説明
	delete	場所からファイルを削除します。

snmp-server community

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コミュニティ ストリングを設定するには、**snmp-server community** コマンドを使用します。コミュニティ ストリングを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server community name [group name | ro | rw]
```

```
no snmp-server community name [group name | ro | rw]
```

シンタックスの説明

name	SNMP コミュニティ ストリング。32 文字以内の英数字のストリングを指定します。
group name	(任意) コミュニティが属するグループ名を指定します。32 文字以内の英数字のストリングを指定します。
ro	(任意) このコミュニティに読み取り専用アクセスを設定します。
rw	(任意) このコミュニティに読み取りと書き込みアクセスを設定します。

デフォルト

デフォルトのコミュニティ アクセスは、読み取り専用 (**ro**) です。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デバイス上の SNMP エージェントに対して読み取り専用または読み取りと書き込みアクセスを設定するには、**snmp-server community** コマンドを使用します。アクセス グループまたはユーザ ロールのコミュニティを設定することもできます。ユーザ ロールの詳細については、『*Cisco NX-OS Security Configuration Guide, Release 4.0(1)*』を参照してください。

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、読み取り専用 SNMP コミュニティを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# snmp-server community test ro
```

関連コマンド

コマンド	説明
show snmp community	SNMP コミュニティに関する情報を表示します。
show snmp group	設定済みのユーザ ロールに関する情報を表示します。

snmp-server aaa-user cache-timeout

AAA ユーザ同期を実現するために Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) タイムアウト値を設定するには、**snmp-server aaa-user cache-timeout** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server aaa-user cache-timeout seconds]
```

```
no snmp-server aaa-user cache-timeout seconds]
```

シンタックスの説明	<i>seconds</i>	タイムアウト値を秒で指定します。範囲は 1 ~ 86400 です。
デフォルト	3600 秒	
コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。	
例	次に、AAA ユーザ同期タイムアウト値を設定する例を示します。	
	<pre>switch# configure terminal switch(config)# snmp-server aaa-user cache-timeout 6000</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp	SNMP に関する情報を表示します。

snmp-server contact

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 連絡先情報を設定するには、**snmp-server contact** コマンドを使用します。連絡先情報を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server contact [contact-info]
```

```
no snmp-server contact [contact-info]
```

シンタックスの説明	<i>contact-info</i> (任意) SNMP 連絡先情報 (sysContact)。255 文字以内の英数字のストリングを指定します。
------------------	--

デフォルト	長さゼロのストリング
--------------	------------

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション
----------------	-------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	SNMP sysContact 変数を設定するには、 snmp-server contact コマンドを使用します。 このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	---

例	次に、SNMP 連絡先を設定する例を示します。
----------	-------------------------

```
switch# configure terminal
switch(config)# snmp-server contact Jane Smith@anyplace.com
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp	SNMP に関する情報を表示します。

snmp-server context

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) コンテキストと論理ネットワーク エンティティとのマッピングを設定するには、**snmp-server context** コマンドを使用します。コンテキストを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server context context-name [instance instance-name] [vrf vrf-name] [topology topology-name]
```

```
no snmp-server context context-name [instance instance-name] [vrf vrf-name] [topology topology-name]
```

シンタックスの説明		
context-name		SNMP コンテキスト。32 文字以内の英数字のストリングを指定します。
instance instance-name		(任意) プロトコル インスタンスを指定します。32 文字以内の英数字のストリングを指定します。
vrf vrf-name		(任意) Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよびフォワーディング) インスタンスを指定します。32 文字以内の英数字のストリングを指定します。
topology topology-name		(任意) トポロジを指定します。32 文字以内の英数字のストリングを指定します。

デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン SNMP コンテキストと論理ネットワーク エンティティ (プロトコル インスタンスや VRF) をマッピングするには、**snmp-server context** コマンドを使用します。

コンテキストを削除するために、**instance**、**vrf**、**topology** の各キーワードを使用してはなりません。これらのキーワードを使用すると、コンテキストが長さゼロのストリングにマッピングされます。

SNMPv2c を使用している場合、SNMPv2c コミュニティと SNMP コンテキストをマッピングするには **snmp-server mib community-map** コマンドを、現在のコンテキストと論理ネットワーク エンティティをマッピングするには **snmp-server context** コマンドを使用します。

コンテキスト マッピングの詳細については、『Cisco NX-OS Security Configuration Guide』を参照してください。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、public1 コンテキストを VRF red にマッピングする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# snmp-server context public1 vrf red
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show snmp context</code>	SNMP コンテキストに関する情報を表示します。
<code>snmp-server mib community-map</code>	SNMPv2c コミュニティを SNMP コンテキストにマッピングします。

snmp-server enable traps

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 通知をイネーブルにするには、**snmp-server enable traps** コマンドを使用します。SNMP 通知をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server enable traps [aaa [server-state-change] | bgp | bridge [topologychange] [newroot] |
callhome | eigrp | entity [fru] | license | link | ospf instance-tag [lsa | rate-limit rate] | port-security
| snmp [authentication] | stp [inconsistency] [loop-consistency] [root-inconsistency]]
```

```
no snmp-server enable traps [aaa [server-state-change] | bgp | bridge [topologychange] [newroot] |
callhome | eigrp | entity [fru] | license | link | ospf instance-tag [lsa | rate-limit rate] | port-security
| snmp [authentication] | stp [inconsistency] [loop-consistency] [root-inconsistency]]
```

シンタックスの説明

aaa	(任意) AAA 通知をイネーブルにします。
server-state-change	(任意) AAA server-state-change 通知をイネーブルにします。
bgp	(任意) BGP 通知をイネーブルにします。
bridge	(任意) STP Bridge MIB 通知をイネーブルにします。
topologychange	(任意) STP トポロジ変更通知をイネーブルにします。
newroot	(任意) STP 新規ルートブリッジ通知をイネーブルにします。
callhome	(任意) Call Home 通知をイネーブルにします。
eigrp	(任意) EIGRP4-MIB 通知をイネーブルにします。
entity	(任意) ENTITY-MIB 通知をイネーブルにします。
fru	(任意) ENTITY-FRU-MIB 通知をイネーブルにします。
license	(任意) ライセンス通知をイネーブルにします。
link	(任意) IF-MIB リンク通知をイネーブルにします。
ospf instance-tag	(任意) Open Shortest Path First (OSPF) 通知をイネーブルにします。
lsa	(任意) OSPF LSA 通知をイネーブルにします。
rate-limit rate	(任意) OSPF レート制限通知をイネーブルにします。有効範囲は 2 ~ 60 秒です。デフォルトは 10 秒です。
port-security	(任意) ポートセキュリティ通知をイネーブルにします。
snmp	(任意) 一般 SNMP 通知をイネーブルにします。
authentication	(任意) SNMP 認証通知をイネーブルにします。
stp	(任意) STPX MIB 通知をイネーブルにします。
inconsistency	(任意) SNMP STPX MIB InconsistencyUpdate 通知をイネーブルにします。
loop-inconsistency	(任意) SNMP STPX MIB InconsistencyUpdate 通知をイネーブルにします。
root-inconsistency	(任意) SNMP STPX MIB RootInconsistencyUpdate 通知をイネーブルにします。

デフォルト

ライセンスと各 SNMP 認証通知がイネーブルになります。

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。
	4.0(2)	OSPF rate-limit キーワードが追加されました。
	4.0(3)	eigrp キーワードが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、BGP 通知をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config) snmp-server enable traps bgp
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp trap	すべての SNMP 通知のイネーブル/ディセーブル状態を表示します。

snmp-server globalEnforcePriv

すべての Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ユーザのプライバシー保護をグローバルに実施するには、コンフィギュレーション モードで **snmp-server globalEnforcePriv** コマンドを使用します。グローバル プライバシーをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server globalEnforcePriv
```

```
no snmp-server globalEnforcePriv
```

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト ディセーブル

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン すべての SNMP ユーザのプライバシー保護を実施するには、**snmp-server globalEnforcePriv** コマンドを使用します。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、すべての SNMP 連絡先についてグローバルにプライバシー保護を実施する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# snmp-server contact Jane Smith@anyplace.com
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp	SNMP に関する情報を表示します。

snmp-server host

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 通知の受信側ホストを設定するには、**snmp-server host** コマンドを使用します。指定されたホストを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server host host-address [traps | informs] [version {1 | 2c | 3 [auth | noauth | priv]}]
community-string [udp-port port]
```

```
no snmp-server host host-address [traps | informs] [version {1 | 2c | 3 [auth | noauth | priv]}]
community-string [udp-port port]
```

シンタックスの説明

<i>host-address</i>	ホスト (ターゲットとなっている受信側) の名前または IP アドレスを指定します。
traps	SNMP トラップをホストに送信します。
informs	SNMP 情報をホストに送信します。
version	トラップの送信に使用される SNMP のバージョンを指定します。バージョン 3 は最も安全なモデルで、 priv キーワードを使用したパケット暗号化が使用可能です。
1	SNMPv1 (デフォルト)。このオプションは informs とともに使用できません。
2c	SNMPv2C
3	SNMPv3 には 3 つのオプション キーワード (auth 、 no auth [デフォルト]、 priv) があります。
auth	Message Digest 5 (MD5) および Secure Hash Algorithm (SHA) パケット認証をイネーブルにします。
noauth	noAuthNoPriv セキュリティ レベルを指定します。
priv	Data Encryption Standard (DES; データ暗号規格) パケット暗号化 (プライバシー) をイネーブルにします。
<i>community-string</i>	パスワードと類似したコミュニティ スtring を通知動作で送信します。
udp-port port	使用するホストのポート UDP ポートを指定します。範囲は 0 ~ 65535 で、デフォルトは 162 です。

デフォルト

SNMP トラップを送信します。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、SNMP 通知の受信側を設定する例を示します。

```
switch# config terminal  
switch(config)# snmp-server host 10.1.1.1 traps version 2c abcddsfsf udp-port 500
```

関連コマンド

コマンド	説明
show snmp	SNMP 情報を表示します。
snmp-server host filter_vrf	指定された VRF で発生する通知のみを受信側ホストに送信します。
snmp-server host use_vrf	SNMP 受信側ホストと通信するため、指定された VRF で発生する通知を送信するように設定します。

snmp-server location

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) が使用するデバイスの場所を設定するには、**snmp-server location** コマンドを使用します。設定した場所を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

snmp-server location [*location*]

no snmp-server location [*location*]

シンタックスの説明	<i>location</i>	(任意) システムの場所を指定します。255 文字以内の英数字のストリングで指定します。
------------------	-----------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション
----------------	-------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例	次に、SNMP の場所を設定する例を示します。
----------	-------------------------

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server location SanJose
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp	SNMP に関する情報を表示します。

snmp-server mib community-map

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) バージョン 2c コミュニティとコンテキストとのマッピングを設定するには、**snmp-server mib community-map** コマンドを使用します。コミュニティとコンテキストのマッピングを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server mib community-map community-string context context-name
```

```
no snmp-server mib community-map community-string context context-name
```

シンタックスの説明	community-string	SNMP コミュニティ スtring。32 文字以内の英数字の String を指定します。
	context context-name	SNMP コンテキストを指定します。32 文字以内の英数字の String で指定します。

デフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン SNMPv2c コミュニティと SNMP コンテキストをマッピングするには、**snmp-server mib community-map** コマンドを使用します。このコンテキストを論理ネットワーク エンティティにマッピングするには、**snmp-server context** コマンドを使用します。

コンテキスト マッピングの詳細については、『Cisco NX-OS Security Configuration Guide, Release 4.0(1)』を参照してください。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、public コミュニティを public1 コンテキストにマッピングする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# snmp-server mib community-map public context public1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp community	SNMP コミュニティに関する情報を表示します。
	show snmp context	SNMP コンテキストに関する情報を表示します。
	snmp-server context	SNMP コンテキストを論理ネットワーク エンティティにマッピングします。

snmp-server protocol enable

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) をイネーブルにするには、**snmp-server protocol enable** コマンドを使用します。SNMP プロトコルをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

snmp-server protocol enable

no snmp-server protocol enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト イネーブル

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(3)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン SNMP プロトコルをディセーブルにして、同プロトコルに関連付けられたすべての TCP または UDP ポートをクローズするには、**no snmp protocol enable** コマンドを使用します。

このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、SNMP プロトコルをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no snmp-server protocol enable
```

snmp-server tcp-session

TCP セッションでの 1 回限りの Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 認証をイネーブルにするには、**snmp-server tcp-session** コマンドを使用します。TCP セッションでの 1 回限りの SNMP 認証をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server tcp-session [auth]
```

```
no snmp-server tcp-session [auth]
```

シンタックスの説明	auth TCP セッションでの 1 回限りの SNMP 認証をイネーブルにします。
------------------	---

コマンドのデフォルト設定	TCP セッションでの 1 回限りの SNMP 認証をイネーブルにします。
---------------------	---------------------------------------

コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション
-----------------	-------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 VDC 管理者
----------------------	----------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例	次に、TCP セッションでの 1 回限りの SNMP 認証をイネーブルにする例を示します。
----------	---

```
switch# config t
switch(config)# snmp-server tcp-session auth
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp	SNMP に関する情報を表示します。

snmp-server host filter_vrf

特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよびフォワーディング) インスタンスで発生する通知を収集するように Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) の受信側ホストを設定するには、**snmp-server host filter_vrf** コマンドを使用します。VRF フィルタを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server host host-address filter_vrf vrf-name [udp-port port]
```

```
no snmp-server host host-address filter_vrf vrf-name [udp-port port]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>host-address</i>	ホスト (ターゲットとなっている受信側) の名前または IP アドレスを指定します。
	<i>vrf-name</i>	VRF 名。63 文字以内の英数字のストリングで指定します。
	<i>udp-port port</i>	使用するホストの UDP ポートを指定します。範囲は 0 ~ 65535 で、デフォルトは 162 です。

デフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、red VRF からの通知を受信するように受信側ホストを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server host 10.1.1.1 filter_vrf red
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp	SNMP 情報を表示します。
	snmp-server host	SNMP 受信側ホストを設定します。
	snmp-server host use_vrf	SNMP 受信側ホストと通信するため、指定された VRF で発生する通知を送信するように設定します。

snmp-server host use_vrf

特定の Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティングおよびフォワーディング) インスタンス上の Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) 受信側ホストと通信するようにデバイスを設定するには、**snmp-server host use** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server host host-address use_vrf vrf-name [udp-port port]
```

```
no snmp-server host host-address use_vrf vrf-name [udp-port port]
```

シンタックスの説明	パラメータ	説明
	<i>host-address</i>	ホスト (ターゲットとなっている受信側) の名前または IP アドレスを指定します。
	<i>vrf-name</i>	VRF 名。63 文字以内の英数字のストリングで指定します。
	udp-port <i>port</i>	使用するホストのポート UDP ポートを指定します。範囲は 0 ~ 65535 で、デフォルトは 162 です。

デフォルト なし

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、blue VRF 上の受信側ホストと通信するように Cisco NX-OS を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server host 10.1.1.1 use_vrf blue
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show snmp	SNMP 情報を表示します。
	snmp-server host	SNMP 受信側ホストを設定します。
	snmp-server host filter_vrf	指定された VRF で発生する通知のみを受信側ホストに送信します。

snmp-server user enforcePriv

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) ユーザのプライバシー保護を実施するには、**snmp-server user enforcePriv** コマンドを使用します。出荷時の設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

snmp-server user *username* enforcePriv

no snmp-server user *username* enforcePriv

シンタックスの説明	<i>username</i>	ユーザ名。32 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
------------------	-----------------	---

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション
----------------	-------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは不要です。
-------------------	--------------------

例 次に、ユーザ `joe` のプライバシー保護を実施する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server user joe enforcePriv
```

関連コマンド	コマンド	説明
	role name	SNMP グループ名として使用するロールプロファイルを設定します。
	show snmp	SNMP 情報を表示します。
	snmp-server user	SNMP ユーザ情報を設定します。

snmp-server user

Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) のユーザ情報を設定するには、**snmp-server user** コマンドを使用します。この設定をディセーブルにするか、または出荷時のデフォルトに戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
snmp-server user username [group-name] [auth {md5 | sha} password [priv [aes-128] password]
[localizedkey] [engineID id]
```

```
no snmp-server user username [group-name] [auth {md5 | sha} password [priv [aes-128] password]
[localizedkey] [engineID id]
```

シンタックスの説明

<i>username</i>	ユーザ名。32 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
<i>group-name</i>	(任意) グループ名。32 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
auth	(任意) ユーザの認証パラメータを設定します。
md5	認証用の MD5 アルゴリズムを使用します。
sha	認証用の SHA アルゴリズムを使用します。
<i>password</i>	ユーザ パスワード。64 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。 localizedkey キーワードを指定した場合は、130 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）で指定します。
priv	(任意) ユーザの暗号化パラメータを設定します。
aes-128	(任意) プライバシーに 128 バイト AES アルゴリズムを設定します。
engineID id	通知ターゲット ユーザの SNMP エンジン ID を設定します。コロンで区切られた 12 桁の 10 進数で指定します。
localizedkey	パスワードをローカライズ鍵フォーマットで設定します。このキーワードを指定した場合は、130 文字以内の英数字のストリング（大文字と小文字を区別）でパスワードを指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

SNMP のユーザ認証とプライバシー保護を設定するには、**snmp-server user** コマンドを使用します。ユーザ パスワードにはデバイスのエンジン ID に関する情報が含まれているため、**localizedkey** キーワードを使用した場合は、その SNMP ユーザ設定を異なるデバイスで使用できません。あるデバイスに別のデバイスで生成したコンフィギュレーション ファイルをコピーした場合、パスワードが正しく設定されない可能性があります。コンフィギュレーション ファイルをコピーした場合は、明示的にパスワードの設定を行うことを推奨します。

SNMP バージョン 3 は最も安全なモデルで、**priv** キーワードを使用したパケット暗号化が使用できます。

1 人のユーザに複数のロールを割り当てるには、複数の **snmp-server user username group-name** コマンドを設定します。*group-name* 引数は **role name** コマンドで指定します。

SNMP 通知のターゲット ユーザを設定するには、**engineID** キーワードを使用して、そのユーザの SNMP エンジン ID を設定します。

このコマンドにライセンスは不要です。

例

次に、ユーザ Jane の認証情報を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server user jane network-admin auth sha abcd1234
```

次に、ユーザ Sam に複数のロールを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server user sam network-admin
switch(config)# snmp-server user sam testrole
```

次に、ユーザ Juan に認証およびプライバシー情報を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server user Juan network-admin auth sha abcd1234 priv abcdefgh
```

次に、通知ターゲット ユーザの認証および SNMP エンジン ID を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# snmp-server user notifUser network-admin auth sha abcd1234 engineID
00:12:00:00:09:03:00:05:48:00:74:30
```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	SNMP グループ名として使用するロール プロファイルを設定します。
show snmp	SNMP 情報を表示します。
snmp-server host	SNMP サーバ ホスト情報を設定します。

system cores

システム コア の出力先を設定するには、**system cores** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
system cores {slot0:[path] | tftp:[server]/[path]}filename
```

```
no system cores
```

シンタックスの説明	
slot0:	slot0: 外部ファイル システムを指定します。
<i>path</i>	(任意) ファイルのディレクトリ パス。パス内のディレクトリ名は、大文字と小文字を区別します。
tftp:	TFTP サーバを指定します。
<i>/server//</i>	TFTP サーバの名前または IPv4 アドレス。サーバ名は、大文字と小文字を区別します。
<i>filename</i>	コア ファイルの名前。32 文字以内の英数字 (大文字と小文字を区別) で指定します。

デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール ネットワーク管理者
VDC 管理者

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは不要です。

例 次に、コア ファイルを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system cores slot0:core_file
```

次に、コア ファイルのロギングをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# no system cores
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clear system cores	コア ファイルを消去します。
	show system cores	コア ファイル名を表示します。